

福祉公社通信



6月号

発行日

平成 29 年6月9日

【第51号 (月刊)】

福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和 55 年に設立した在宅サービス提供機関です。

誌名「羅針盤」はご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を表したものです。

6月を薄暑差す風待月と形容しますが、先月半ばには、突然、真夏が到来したかのような日々が続きました。

水無月の空を振り上げば、ツバメが鋭くもあざやかに飛翔し、虚空を翻っています。高齢者総合センターにも1年ぶりで姿を見せてくれました。今は卵を大切に孵しています。子ツバメの元気な巣立ちを願うばかりです。

梅雨時は高温多湿、体調を崩しやすい時季です。

皆様には、どうぞ、ご自愛ください。



<紙面から>

平成 28 年度期末監査報告 ……1ページ

デイサービス外食会

家族介護教室 みどりのわカフェ

北町高齢者センター オープンガーデン …… 2ページ

権利擁護センター プチ講座

スプリングコンサート ……3ページ

お知らせ リレーコラム ……4ページ



平成 28 年度 期末監査報告



5月19日に期末監査を受けました。

平成 28 年度の福祉公社の事業運営及び会計処理について、法令や規程を遵守し適正に執行されているか、監事が調査しました。

福祉公社には2名の監事がいます。五十嵐利光監事（東京老人ホーム常務理事）が事業運営全般を、会計処理については安田大監事（税理士・社会保険労務士）が担当しています。

調査は理事や職員等への聴取、重要な決裁書類等の閲覧、会計帳簿等の計算書類の整合性確認、財産目録と資産状況の照合等により行われます。

監査の結果、事業運営については、「適切な運営とサービスであり、年度当初に掲げた重点項目についても適切に対応している。しかし、運営の中で新たな課題も出てきているので引き続き取り組んでもらいたい。ここ数年、事務的なことも含めてとても良い運営とサービス提供をしている。これからも市民のために、良き働きを続けてもらいたい」との講評を頂きました。

また、会計処理に関しては、「良好な処理がなされている。特に指摘事項は無い」と講評されました。

講評結果について萱場理事長は、「概ね良好という講評であるが、これに甘んじることなく、頂いたご意見などにしっかり対応して、事業を運営して行きたい」と所感を述べました。

これからも福祉公社は、市民福祉の増進に寄与するため、コンプライアンスを遵守し、皆様のご期待に添うように、適正な事業運営に努めてまいります。



高齢者総合センター ティサービス 外食会



5月9日から3日間、三鷹の「かごの屋」野崎店で、美味しいお寿司ご膳を頂きました。沿道の新緑を眺めながら、われらがふれあい農園に立ち寄り、テーブル菜園の生育状況を確かめた後、送迎バス3台は一列縦隊でお店に向かいます。

車中、「お母さん、お父さんの会社はこの辺だったわよね」と笑顔の娘さん、傍らの介護職も思わず微笑みます。お店での自己紹介の場面では、失語症のNさんに「お名前は？」と伺うと、「それよりもお腹がすいたわ」とスラスラとおっしゃり、一同は嬉しいびっくり。



いつもは介助で食事を召し上がるYさんは1人で完食なさり、やはり、お仲間みんなで、楽しく美味しいものを頂くことの素晴らしさを再認識しました。ご家族の参加も多く「お母さん、これ食べて」とやさしく勧める息子さんに、ご家庭でのほのぼのとしたご様子が垣間見られ、あたたかな想いに満たされました。



北町高齢者センター オープンガーデン

中庭のシンボルツリーはなみずきが咲くとオープンガーデンの季節です。



今年は4月26日に開催しました。

はなみずき、ツツジ、コデマリ、オダマキ、スズラン、ミヤコワスレ、キンギョソウ、カラー、クンシラン、シラン等の花々に囲まれて、なごやかに地域の方々と交流できました。



庭に咲き誇る花々は園芸ボランティアの皆様の日頃の

丹精の賜物です。

隣の中央幼稚園のお母さんとお子さんも多数来所され、元気な子どもたちの姿から、ご利用者は笑顔とパワーを頂きました。

お土産はご利用者手作りの可愛い紙粘土のストラップ。



手にした子どもたちは大喜びではしゃぐ姿にその場のみんなも笑みがこぼれます。

今回は近隣地域の方々62名がお越しくださいました。心から感謝申し上げます。また来年も開催します。園芸ボランティアさんも募集中です。ボランティアさんが愛情を込めて手入れなさる中庭をご利用者は、日々、眺めつつ、センターライフを楽しんでください。是非、お力をお貸しください。

家族介護支援教室 みどりのわカフェ

4月28日、在宅介護支援センター主催のわカフェに16名が参加されました。

市は昭和48年から公的な食事サービスを実施していますが、最近では民間事業者による配食も充実して来ました。そこで5社の試食をしました。



普通食、低たんぱく食、ムース食、刻み食、やわらか食など変化に富んだ食事をご参加者が賞味し、意見交換しました。

「弁当の情報が良く分かった」「今後の参考になる」「介護食を食べている夫の気持ちが分かった」「塩分に注意したい」「介護していた時にはお弁当宅配が無かった。自分の時には利用したい」と和気あいあい、会話も弾みました。



特に、「知らなかったことに出会えるのは、ありがたい」「学習の機会に感謝」とのご感想を頂き、スタッフには励みとなります。

生活課題のよろず相談所が在宅介護支援センターです。今後も、まちぐるみの支え合いを推進し、皆様が住み慣れた所で一生を過ごすために、有益な情報をご提供します。

次回もお楽しみに。

「エンディングノート」が気になる方へ ②



～ 権利擁護センター プチ講座 ～

①は、平成 29 年 5 月号
をご覧ください。

今回は、エンディングノートを準備する際のポイント 3 点をお伝えしました。今回は 1 つ目のポイント “もしものとき” をイメージしながら必要な項目をつくる” についてお話しします。

現在、多数の市販のノートがありますが、ポイントさえ押さえれば、自分のオリジナルノートを作れます。また、自分に最適な市販ノートを選ぶこともできます。

まず項目を考える前に、「エンディングノートは一日で完成するものではない」とご理解ください。このノートは心のままに、自由に書きたい項目を追加できます。完成時期がいつかは分かりません。そこで、未完成でも、「いざという時の最低限の機能」を持たせるよう、重要な項目から優先して記載します。

必要項目の洗い出しのポイントは「もしもの時」をイメージすることです。

例えば、「もしも自宅で倒れた時」、周囲の人は自分のどのような情報を必要とするか。または「倒れた後、長期にわたり人と話せない状況になった時」、何に困るか。入院したときには、様々な手続きや支払いが必要となりますが、それを人に任せるためにどんな情報が必要か。まずは、そのような緊急時をより具体的に想定し、必要項目を挙げてみましょう。

一般的には、**医療情報**（現在の疾患、既往症、服薬、医療処置の希望 等）、**金銭について**（非常時の金銭保管場所、通帳・届印・カードの保管場所）、**緊急連絡先**（保証人や手続きを代行する人等）などです。その他には「入院等を知らせる連絡先」、「貴重品の保管場所」、「万が一の場合の葬儀について」等々、人によって様々です。

これらの項目を考えるだけでも時間がかかります。しかし、じっくりと考えながら取り組むことが大切です。項目の確定後、必要情報を記入しますが、ここで留意したいことは一項目に「すべての情報」を詰め込もうとしないことです。

次回は、第 2 のポイント “これがわかれば、あとは大丈夫” という最小限の情報を簡潔に” についてお伝えします。



思い出のカントリー&ウエスタンコンサート



5 月 30 日、高齢者総合センターで、C. アンディ徳永と OleCountryBoys (オールカントリーボーイズ)、よし・はじめ、宇佐美由美子の皆様によるスプリングコンサートを開催しました。

演奏に彩を添えるのは、ノンストップ・ママによる華麗なカントリーダンスとデイサービスセンターのご利用者が心ひとつに制作した背景画です。

カントリー&ウエスタンには、独特の哀愁と楽しさがあります。聞くと心が弾んで手を叩き、足踏みしたくなる、初めて聞くのにどこか懐かしい……。

約 150 人のご来場者は出演者の渾身のパフォーマンスを堪能なさり、終始、会場は笑いと手拍子、熱気に包まれました。全員合唱もあり大盛況でした。

戦後日本の青春期ともいべき昭和 40 年代初め、学生時代にグレン・キャンベルを聞いていた方は、

「心が浮き立ち、でも、しみじみした」と仰っていました。

その他にも「懐かしかった」「楽しかった。また来たい」「社会活動センターでこうした行事があるとは知らなかった」などのご感想が寄せられました。



会社からのお知らせ

老いじたく講座 ～成年後見制度について～

誰にでも訪れる老いに備え、元気なうちから準備して尊厳ある老後生活を築きましょう。

日時 6月27日(火) 13時30分から15時
場所 市民会館 第2学習室



～エンディングノート講座～

日時 7月13日(木) 13時30分から15時
場所 福祉公社 1階会議室

問合せ 在宅サービス課 権利擁護センター
・申込 ☎ 23-1165

家族介護支援教室 みどりのわカフェ

～介護なさっている方、関心のある方へ～

日時 6月23日(金)
13時30分から15時
場所 高齢者総合センター
1階ダイルーム



料金 お茶とお菓子 100円

お茶やコーヒーを飲みながら、気軽におしゃべりしませんか。介護の疑問、大変さ、分からないこと・・・、お仲間との交流で解決したり、元気付けられます。福祉専門職も同席して和気あいあいの楽しいひと時です。

職員リレーコラム

第37回 「介護帰省とご褒美」

ホームヘルプセンター 堀本 総子

私は介護のために定期的に夫の実家に帰省しています。その時、自分へのご褒美に必ず寄り道をします。

今回の帰省の後、高校の同窓会が大阪で開かれました。日本画家になった同級生が、嵯峨野にある大覚寺の天井画に「仏手柑と鳥」の絵を納めた話を聞いて、京都に立ち寄ることにしました。京都は丁度「葵祭り」、友人に勧められた先斗町の「長竹」という甘味処に行きました。長竹では、本格的な濃茶と薄茶が提供され、黒豆のきな粉餅は薄く上品な色です。おぼんざいもあったので、昼食と抹茶パフェも頂きました。

京都は外国からの観光客と地元の人で賑わい、新旧の文化が渾然一体となっていますが、その空気感は、吉祥寺の街と通じるものがありました。

魅惑的な時間を過ごすことができ、「ご褒美」も堪能できたので、また遠距離介護を頑張りたいと思います。

⇒ 次回は ホームヘルプセンター 高橋 裕子



編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社

次号は平成29年6月9日発行予定です



武蔵野市福祉公社・ホームヘルプセンター武蔵野

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

バス停「武蔵野八幡宮前」下車

☎0422-23-1165 (総務課、在宅サービス課)

☎0422-23-2611 (ホームヘルプセンター武蔵野)

武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1

バス停「武蔵野住宅」下車

☎0422-51-1975 (管理・社会活動センター)

☎0422-51-1974 (在宅介護支援・補助器具センター)

☎0422-51-2933 (デイサービスセンター)

武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

☎0422-54-5300 バス停「北町四丁目」から徒歩三分
業務時間 8:30~17:15 (全て共通)

福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikosha.jp/>